

☆米 国

合繊設備

IVL、北米の PET 工場、2015 年操業予定

ポリエステル大手の Indorama Ventures (IVL) は、このほど米国内で新たな PET 樹脂工場の建設を決定した。これにより米国における事業展開を強化する狙い。新工場の生産能力は年産 54 万ト、2015 年第 4 四半期の稼働を見込む。これにより同社の北米における PET 樹脂の総生産量は 210 万トに拡大する予定。

IVL は世界化学メーカーの上位 20 位入りを目指し、ポリエステル製品の最大需要地であるアジア地域に加え、米国でも投資活動を拡大、今年に入って米国の EO/EG メーカー Old World を買収し、EG 事業への参入を果たした。

現在、北米では米国に 5 拠点、メキシコに 1 拠点を有するが、新たに米国内に拠点を設けることで中南米市場での展開強化を目指す。

☆ベルギー

合繊設備

JBF が世界最大級の PET 工場建設へ

インドのポリエステル大手メーカー JBF Industries は、ベルギーの Geel 地区に世界最大級の PET 工場を新設することを明らかにした。設備能力は年産 43.2 万ト、2014 年の完成を目指すという。PET ボトルや包装材向けの高品質な PET を製造する計画。

JBF によると、原料のテレフタル産は、Geel 地区内の隣接地の英化学大手 BP Chemical の PTA 工場から調達するという。

工場の建設はドイツのエンジニアリング企業 Uhde Inventa-Fischer が担当する。工場は、Uhde Inventa-Fischer の最新鋭かつエネルギー効率の高い技術を採用、高品質の PET チップを製造する。

また、年産 5.4 万トのリサイクルラインを統合する計画もあり、完成すれば、製造に必要な原材料の最大 25%までを再生品で賄うことができるという。

JBF グループは、2013 年 6 月に年産 9 万トの PET プラントをバーレーンで稼働開始する計画のほか、インドの Mangalore 地区に年産 125 万トの PTA 工場の新設も決定している。

☆ ロ シ ア

合織設備

JSC Cluster、ポリエステル S プラント建設へ

露・JSC Cluster Textile Corporation Iverginsintez は、このほどモスクワにて、Ivanovo 地区にポリエステル S プラントを建設することに関し、合意書に調印した。建設プロジェクトの発注先は化学機械製造分野の大手、独・EPC Engineering Consulting で、調印式には独・チューリンゲン州の首相、経済相、Ivanovo 地区知事らが出席した。

EPC Engineering Consulting は CIS 諸国に関する膨大なノウハウを有しており、今回の建築プロジェクトでは、ポリエステル S 設備導入、人員のトレーニング、設備稼働等の業務を担当する。また、ドイツ系の銀行と共同でプロジェクト融資を行うなど財政面での支援も視野に入れる。

一方、JSC Cluster は建設サイト選択、建設会社との渉外、人材の調達、プロジェクトのインフラ整備、パイプライン供給等を担当し、更にポリエステル S プラントの運営に携わる。

この近代的 PET 加工プラントの発足が、ロシアの掲げる 2020 年までの発展戦略、に基づきロシア軽産業の発展の重要なマイルストーンとなることが期待される。

以上